

議員全員協議会

日 時	令和5年9月27日(水) 開会中	8時53分 開会 9時57分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生 2番 谷口恵世 3番 絹村智昭	
	4番 名波和昌 5番 加藤 彰 6番 木村正利	
	7番 松下定弘 8番 種茂和男 9番 濱崎一輝	
	10番 原口康之 12番 太田佳晴 13番 中野康子	
	14番 大石和央	
欠席議員		
事 務 局	局長 田形正典 次長 本杉裕之 書記 植田容子 書記 本杉周平	
説 明 員	市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、政策監	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

それではただいまから、議員全員協議会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。す。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

まず早速ですけど、市長報告ということでよろしいですか。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは私のほうからは、本日は2件ほど報告をさせていただきます。

まず1点目に、9月定例会追加議案の提出についてであります。本定例会に追加議案報告第6号を提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

議案は、今月9月9日、午後9時30分頃、萩間地区白井地内、市道女神4号線の道路陥没箇所
で落輪した車両の損傷に対する損害賠償についての専決処分の報告であります。

今回の事故については、幸いにして人的被害はなく、右前輪が穴に落ちパンクしたというものであります。

現状、道路については路面がわだち掘れ、ひび割れたアスファルトの一部が剥がれて穴が空いたもので、すぐに補修を行い復旧しております。

詳細につきましてはこの後の常任委員会合同協議会において担当から説明をいたしますので、よろしくお願いいたします。

2点目といたしまして、ハワイ州ホノルル市にあるKZOOラジオ局のオーナー、デビット古屋ロビン夫妻が、先週末に一泊二日の日程で本市に滞在されました。このラジオ局はハワイ州観光局の公認で、全米で唯一、24時間日本語による放送を行っています。私が7月にこのラジオ番組に生出演をいたしまして、ホノルル市のリック市長と対談し、今後は文化や自然、経済など自治体同士の交流につなげていくようお話をしたことから、今回、取材と番組収録のため古屋ご夫妻が当市まで来ていただきまして、2回目のラジオ出演となりました。

現地スタジオと結んだ収録は司会者の軽快な進行によりまして、和やかな雰囲気の中、進行いたしました。

私からは、マリンスポーツなどを通してホノルル市との継続的な交流を希望することや、ハワイでふだんから日本の緑茶を好まれている古屋ご夫妻に静岡牧之原茶を呈茶したことなど、お話をさせていただきました。

古屋ご夫妻は日系三世ということもあって、日本語が堪能、とにかく親日家で、高尾山石雲院で着物の着つけ体験や茶道体験、さらに道中は坂口谷川の彼岸花を鑑賞されるなど、牧之原市の文化や秋を満喫していただきました。ご夫妻からは、当市へのおもてなしに対する感謝とともに、今後の交流促進、特にホノルル市への当市の訪問交流について、希望と期待の言葉をいただいたところでもあります。

このKZOOラジオ番組出演、連携、交流はまきのはらシティプロモーションアドバイザー、ジョン・オオモリさんのコーディネートによるものであります。ホストタウン事業によるUSAサーフィンチームの事前合宿の大成功、その後におけるレガシーの創出と継続が新たな展開へとつながっていくのを感じているところでございます。

この出会いと機会を大切に、ホノルル市、KZOOとの関係や交流をさらに深め、12月にジュニアズアクションスポーツクラブ受講生が参加するカリッサ・ムーア選手創設のムーア・アロハ財団とのハワイミニキャンプを皮切りに、関係人口、交流人口の増加、サーフィンなどのマリンスポーツによる沿岸部の活性化、地域の賑わいの創出につなげていきたいというふうに考えております。

ホストタウンレガシー事業の一つとして取り組むハワイホノルル市との交流につきましては、市議会におかれましてもご支援くださいますよう、よろしく願いをいたします。

私からの報告案件は今回は2件でございます。

以上であります。

○議長（植田博巳君）

今報告がございました。この報告の件以外でも結構ですので、お聞きしたいことがあったら、お願いいたします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今、市長からハワイ州との交流について説明がありましたけれども、オリンピックのレガシーをつくっていくということで、別にこれに意見するものはないですけれども、ただやはり、サーフィンって、そんなにまだ市民に広く浸透しているメジャーなスポーツじゃないと思うんです。そういった意味で、サーフィンだけじゃなくて、ここにも沿岸部の活性化とか地域の賑わいと書いてありますけれども、なかなか広く市民に理解してもらうというのも難しい部分があると思うんです。その部分について、どのように今後取り組んでいくかというのをもう少し細かく。でないと、せっかく交流していても理解してもらえない部分が少ないとマイナスになりますので、そこを少しお願いします。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

今回、12月に牧之原市のジュニアズアクションスポーツクラブの皆さんが訪問することになっ

ていますが、決してサーフィンだけではないんですね。サーフィンをはじめとするニュースポーツと言われているものがあります。アメリカにしてもヨーロッパ各地にしても、小中学生、遅くとも高校生までの時代、いろんなスポーツを体験することが大事だと言われています。これは今のスポーツ庁長官の室伏さんもおっしゃっていますし、橋本聖子元日本オリンピック組織委員会の会長もおっしゃっています。

そういった意味で、我々は新たな取組として、一つのスポーツに子供たちを特化させるのではなくて、いろんなものを体験してもらって、いろんな体のスポーツ、それぞれのスポーツのよさを感じていただいたり、体を鍛えていただいたりということで、スポーツに触れ合う。そして、将来的に私は何をというふうに決めていく。世界のアスリートは大体、今そういう流れだというふうに聞いています。

そうしたものの一つの皮切りとして、このジュニアズアクションスポーツクラブができたというふうには私は認識していますが、そういった形で、さらに今の枠を広げていったり、それから、カリッサ・ムーア氏のムーア・アロハ財団についても、サーフィンだけではなくて、いわゆる健康スポーツであるとか、食の健康であるとかというのをハワイでもやっています。

ですので、これもやっぱり先ほど言った室伏長官であったり、橋本聖子元オリンピック組織委員会の委員長だったり、スポーツと食、あるいはスポーツツーリズムということをすごく訴えています。ですので、私はサーフィンだけというよりも、せっきやくこの15キロの海岸線を有する自然環境、それから食の環境がございます。ですので、サーフィンをはじめとするそういったマリンスポーツ、マリンレジャー、あるいはニュースポーツというものを使って、スポーツツーリズムでいわゆる関係人口、交流人口を創出していく。そうした先駆けをやられているムーア・アロハ財団との交流、これはやっぱりレガシーを生かした形でつなげていくということが重要ですし、それから、こうした形でオリンピックレガシーをつなぐことによって、大阪万博が2025年計画されています。これについてもアメリカのホストタウンをやることで計画しております。

東武トップツアーズに関しても、企業版ふるさと納税も多額いただいておりますけれども、そうした取組を行っていくということの一つの条件といいますか、そういった取組を評価していただいて、企業版ふるさと納税もいただいているということですので、そういった形でさらなる交流人口拡大に向けていくためのアイテムの一つというふうに考えています。

非常に親日的であるということと、それから先ほど申しましたけど、K Z O O の古屋社長さんもそうなんですけど、ハワイの人たちは非常に日本の緑茶をたくさん飲まれているということ伺いました。ハワイのオアフの市長さんも非常に緑茶を好まれているということで、牧之原のお茶をハワイの皆さんに飲んでいただくと。ですから、牧之原の美味しい、もっと美味しいお茶があるんだよということも知ってもらいたいし、そうした輸出の一つの、牧之原茶としてとんがったお茶の輸出先といいますか、特定の。そういったことも含めて大いに可能性があるのかなと思っていますので、様々な形で拡大していきたいというふうに思っています。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

分かりました。ぜひ目に見える成果が出るようお願いしたいと思うんですけど、なぜ私がこのことを確認したかといいますと、前市長のときですけれども、長きにわたって中国とのお茶の交流、販路拡大とかいろんなことを表へ出してやって、それは我々議会も認めてきたんですけども、総括的なものの結果が出なかったような気がするんです。

それで、当時ちゃんと成果をしっかりと書面にしてまた提出してもらいたいというようなことも言ったことがあったと思うんですけども、それすらないし、それで今のお茶の結果といえば、茶農家の疲弊というのは、ひどいものになっております。

そういったことで、それは幾ら言っても元に戻ることはないですけど、そのときのイベントとして、市のこういったものを作っていただけではうまくないので、ある程度、予算的にも本当に海岸の活性化を図っていくには、かかってくると思うんです。

それで、我々、総務建設委員会もこの2年間、沿岸部の活性化ということで取り組んできて、提言のほうも提出させてもらう予定ですけども、そういったものにも、ぜひ先行投資になるかもしれないですけども、新たな魅力を創出して、なおかつハワイとのこういった交流が成果につながるような形に、ぜひとも持っていききたいなど、そんなふうに思いました。よろしくお願います。

○議長（植田博巳君）

ほかは。

中野議員。

○13番（中野康子君）

ハワイの関係ですけども、オアフ島のほうで火事がありました。それで、牧之原のほうでも義援金を集めておりますけれども、たしか9月末でそれも締め切っていくというようなお話だったというふうに思いますけれども、ムーア財団のほうへ現金をお贈りする、現在までの義援金の金額というのが分かりましたら教えていただきたいと申しますし、いつそれをお送りするのか、その辺も教えていただきたいと申します。

○議長（植田博巳君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

お答えさせていただきます。

募金活動緊急支援については、2回ほど活動を行いました。1回は報道等でも大きく取り上げられましたので非常に、そこで集まった金額というのは8万円ほどになっております。先日、中日本のライフセービング大会が相良の海岸で行われました。その際にも約10名ぐらい、保護者も含めると15名ぐらいが参加して募金活動を行って、そこで2万円ぐらい集まっています。なので、現在は10万円ほど募金が集まっているというような状況でございます。

ジョン・オオモリ氏とも少し確認をして、一番いい渡し方というのは、やはり振込みとかというところもそうなんですけれども、今度12月に子供たちが行くものですから、そのときに持って行ってというような形で直接ハワイのホノルル市長にお渡しする形が一番いいんじゃないか、効果的であるんじゃないかなというところで今考えていますので、その辺をこれから調整していくというところでございます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

金額を聞いて、もうちょっと集まっているかなというふうに期待していたんですけど、両庁舎なんかには現金箱なんて置いてありますでしょうかしら。

○議長（植田博巳君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

両庁舎にも置いてあって、さざんかにも置いてありますけれども、それは赤十字の関係の募金箱になるものですから、まだちょっと金額的なものはしっかりこちらのほうでは把握しておりませんが、そちらのほうは最終的に赤十字を通じてハワイの赤十字に送られる、そんなことで考えています。

○議長（植田博巳君）

ほかはよろしいですか。

木村議員。

○6番（木村正利君）

関連ですが、今10万円ほどということですので、できれば単位的に1,000ドルは集めたほうがいいんじゃないかなと思いますので、こちら辺の集め方はまた工夫していただければ、協力できるものはしたいなと思っていますので、いかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

やはりこういった活動を知ってもらい、そして市民の中には何らかの形で支援をしたいという方も多いですので、何らかのイベント等にやはり出て行って、募金活動を知らせるのと募金をいただくというようなことを考えていきたいと思っています。

それには、やはり子供たちもそういった意識を、この活動を通して、ハワイ、そしてムーア・アロハの持つアロハの精神というか、そういったものをしっかり押さえた上で募金活動を行うというような事前のレクチャーも必要になってくるので、そういったところも踏まえながら今後のイベントにしていきたいと思っています。ありがとうございます。

○議長（植田博巳君）

名波議員、どうぞ。

○4番（名波和昌君）

1点、KZOOラジオとの提携のところになります。レガシーを今後も引き継いでいくということで非常にいいことだというふうに思っています。ただ、この中で、関係人口、交流人口の増加とか沿岸部の活性化、そういったものにつなげていきたいというふうに今お話しいただきましたけれども、関係人口とか交流人口の増加、あるいは地域の賑わいの創出に関して、例えば目標値等々は設定されているのかどうか、その点についてお聞かせください。

○議長（植田博巳君）

企画政策部長。

○企画政策部長（大石佳伸君）

関係人口、交流人口についての目標値ということですが、数値的なものは今のところは設定をしていません。例えば何人であったりというところ。ただ、その中で今私のほうで考えているのは、企画政策のほうで考えているのは、コロナ禍前の基準にとか戻したいというようなところ、水準に戻したいというところ。例えば、今回も空港のおもてなしの会の皆さんにお世話になって、様々な文化体験等を行いましたけれども、やはり3年半くらい空いてしまっていますので、受け入れる側も、そちらのほうの対応が、いろいろまたゼロとは言いませんけれども、そういったところにあるものから、やはりそういったところをしていく。それとやはり、これからインバウンドが多くなってくると思いますし、東京とか首都圏からの交流人口も多くなってくると思うものから、受け入れる側の体制をしっかりとっていく、そしてイメージとすると、コロナ禍前の水準に戻していきたい、そんなふうに思っています。

○議長（植田博巳君）

名波議員。

○4番（名波和昌君）

理解しました。ぜひ、やっぱりある程度の目標値を、職員も含めて議員もそうなんですけど、共用していないと、そこへ向かっていく力というのが、どんどん弱くなっていってしまうと思いますので、ぜひオープンにして進めていただきたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ほかはよろしいですね。

〔「なし」と言う者あり〕

私から、KZOOラジオ、それからムーア・アロハ財団ということで、アメリカのハワイ州ときっかけづくりができていくという状況の中で、やはりスポーツは当然ですけれども、それ以外にも文化とか観光とか、ハワイ州と強くお付き合いしていただいで、将来的にはハワイと牧之原市が姉妹都市になるような形まで持っていただければ、やはりこの牧之原市の沿岸部、ま

たお茶の問題、そういうのも解決の糸口になるのかなと思っていますので、よろしく願いいたします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も同様に思っています、先ほど申し上げましたように、ハワイと日本の各都市との友好関係を締結しているところは非常に多くあるんですね。そうした全国的なイベントもあったりしています。

一つには、先ほど部長がコロナ禍前のというふうにありましたけど、コロナ禍前には富士山静岡空港からハワイホノルルにチャーター便が年一回飛んでいたんですね。ですので、そういった一つの再開を目指す、牧之原市民にもたくさん行ってもらう、ハワイからも来てもらう、双方向のチャーターができたらいいなと思いますし、そういった形で一つずつ、一歩ずつ文化、観光、スポーツの交流が、しいてはスポーツツーリズムを含めて、関係人口、交流人口の拡大につながっていくというふうに思っていますので、それが最終的には市の経済に貢献できるような形にしていければというふうに思っています。

以上です。

○議長（植田博巳君）

お茶についても、ハワイに直接、静岡牧之原茶の販路が開設できれば、それをきっかけにアメリカ全土に広がるということも考えられますので、ぜひ、お願いいたします。

よろしいですか、ほかは。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

以上で市長報告を終了いたします。

ちょっと休憩でよろしいですか。

〔午前 9時14分 休憩〕

〔午前 9時15分 再開〕

○議長（植田博巳君）

会議を再開します。

3 議長・関係議員・委員会報告 (1) 会議等の結果

○議長（植田博巳君）

次に、議長・関係議員・委員会報告を行います。

会議等の結果を最初に行います。

先に私のほうから報告いたします。

8月17日ですけれども、静岡県市町議会議員研修会、全員参加ということで、ありがとうございました。

8月23日が、東遠工業用水道企業団議会の臨時会、それから定例会、全員協議会が開かれました。臨時会は議長、副議長の選挙が行われ、掛川市と御前崎市の議員構成が変わったために、今度議長は山本掛川市議会議長が議長に就任しました。副議長は御前崎市の増田議長が就任いたしました。定例会につきましては、専決処分の承認が4件と、令和4年度の決算の認定の計5件が上程されて、あと報告案件が1件ということで、全て承認されました。

8月29日、全国民間空港所在都市議会協議会が行われました。この協議会の顧問は福岡市になっておりまして、会長が伊丹市、それから副会長は今年から牧之原市と稚内市、青森市、大村市ということになっております。牧之原市が副会長という立場に今なっております。

その中で役員会が開かれまして、要望を出すんですけれども、その提出案件についてということで役員会が開かれまして、実行運動が国土交通省の航空戦略室の参事官ほか5名に対しまして、今言った顧問と会長、副会長、幹事で要望活動を行っております。国交省以外にも総務省にも要望活動を行っております。

要望内容といたしましては、財源対策、空港整備の推進、安全対策、空港周辺環境対策、空港機能の活用とまちづくり対策、空港運用の在り方ということで、大項目で計6項目を要望いたしました。

それ以外に、各都市からの特別な要望はありますかということだったので、牧之原市、我が市からは、国際線の復便についてということで、今後の東アジア圏の回復見通しについて質問させていただきました。答えは、積極的にインバウンドに向けて今、国も航空局も一生懸命やっているということで回答を得ました。

あともう一点、空港直下の新幹線新駅の設置についてということで、要望いたしました。航空局も、この件については十分承知して今一生懸命動いていますというような回答でございました。

8月30日ですけれども、牧之原市消防団第5分団の勝間田消防館新築工事地鎮祭に、私と大石議員、加藤議員、3名招待されまして行ってまいりました。消防団の詰所も老朽化しているということで、勝間田の新たな消防館が新築されて、活動が容易にできる状況になったというふうに思っております。

8月30日に第1回の新しい学校づくり勉強会が開かれました。

それから8月31日、海水浴場の閉場式が行われまして、水難事故は1件もなく、安全な海水浴場ということで閉場いたしました。静波、相良合わせて15万2,000人というような報告がございました。

9月6日ですけれども、牧之原市御前崎市広域施設組合議会の臨時議会が開かれました。副議長と監査委員の辞任による副議長選挙、監査委員の選任が行われました。副議長には増田雅伸御前崎市議会議長、監査委員に齋藤 洋さんが選任されました。あとは専決処分の報告承認についてということで、1件提出されましたけど、全員賛成で可決されました。

9月10日、第46回中央公民館まつりが行われまして、芸能発表、作品展示と、皆さん力作が展示されておりました。久しぶりの開催ということで行われました。

9月21日、秋の交通安全県民運動出発式がございまして、巡回広報とか一斉街頭広報が行われました。皆さんありがとうございました。

私のほうからは以上です。

副議長。

○15番（村田博英君）

8月28日、午前10時半から榛原総合病院の7月31日現在の一般会計及び病院事業会計の現金出納の状況を監査いたしました。いずれも問題なく、結果的に問題なく終わりました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

原口議員。

○10番（原口康之君）

8月23日から25日までですけど、令和5年度の全国都市監査委員会総会と研修会が、秋田市のあきた芸術劇場ミルハスで行われました。

8月24日には令和4年度の決算報告、総会では議案3件、報告2件が審議され、全てにおいて可決、承認されました。その後、講師を招き、「監査委員監査の更なる充実強化に向けて」と、25日には分科会に分かれて「内部統制に依拠した監査の実務について」などの研修を行っております。

8月29日の午前中、例月現金出納検査、午後には財政援助団体等監査を行っております。ともに歳入歳出と補助金事業内容及び決算について確認したところ、相違ないことを確認しました。

9月4日、御前崎市牧之原市学校組合議会定例会が行われました。定例会に先立って全員協議会が行われ、御前崎市議会で改選があり、河原崎恵士議員に替わり、川口純男議員が選出され、本会議の議長が欠けているため、議長選について協議をいたしました。

定例会では、はじめに議長の選挙が行われた結果、増田雅伸議員が議長に選出されました。次に、議案3件について審議して、全てにおいて可決、承認されました。

引き続きの全員協議会では、令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果についてなどの現在の生徒の状況が報告されました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ほかはございませんか。

谷口議員。

○2番（谷口恵世君）

8月21日の第2回大井上水道企業団議会定例会についてです。まず、専決処分の承認を求めることについてが1件、それから令和4年度大井上水道企業団水道事業会計未処分利益剰余金の処

分についてが1件、令和4年度大井上水道企業団水道事業会計決算書認定について、大井上水道企業団監査委員の選任につき同意を求めることについての4件で、全て可決、認定されました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (2) 議会運営委員会

○議長（植田博巳君）

次に、(2)議会運営委員会から報告願います。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会の報告です。まず8月24日ですけれども、アの9月定例会について、イの9月定例会の日程の確認については、これは済んでいますので、割愛いたします。

9月22日でありますけれども、9月定例会追加提出議案ということで、ただいま市長のほうからもありましたけれども、追加があるということで、全協の後、合同委員会で説明があります。

次に9月定例会の日程の確認につきましては、皆さんタブレットのフォルダの中にありますので、ご確認していただきたいと思います。

それから、ウの提言書についてですけれども、総務建設委員会、文教厚生委員会ともに案が出ておりますので、この後、協議事項で協議いたします。

次に、陳情（要望）等の取扱いについてということで、2件の陳情が出されましたが、いずれも郵送によるもので、議運でいろいろ話をしたのですが、申し合わせ事項に沿いまして、議員配布ということに決定をいたしました。

次に議会報告会についてですけれども、役割分担ということで資料3ですけれども、受付と記録係という形で決まりましたので、その部分を載せてあります。記録係の皆さんについては、当日の記録と報告のほうをよろしく願いをいたします。

次に、その他につきましては、その他のところで、この後、説明がありますので、よろしく願いをいたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長（植田博巳君）

次に、(3)総務建設委員会から、報告願います。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

それでは総務建設委員会の報告をいたします。

9月1日ですけれども、9月提出の提言書案について協議をいたしました。提言書案のたたき台に沿って各委員から意見を出していただきました。

その後、9月11日ですけれども、9月11日に各委員から出された意見を基に修正した提言書案について、委員会の最終確認をいたしました。

9月25日ですけれども、付託議案審査については、9月議会最終日の委員長報告とさせていただきます。

もう一点、9月議会終了後に議長に提出します所管事務調査報告書の内容について、内容確認をいたしました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 （4） 文教厚生委員会

○議長（植田博巳君）

次に、（4）文教厚生委員会、お願いいたします。

○13番（中野康子君）

9月1日、提言書につきまして委員からの意見を基に作成した案について協議を行いました。そして、陳情につきまして、8月1日付で郵送で受理いたしました健康保険証の存続を求める意見書採択に関する陳情について、議会運営委員会におきまして所管の文教厚生委員会で検討することとなっていたことから、どのように対応するかを協議いたしました。その結果、所管課から現状についての説明を受けることに決定をいたしました。

9月15日は、9月1日の委員会において委員から指摘がありました内容を基に修正した案について、協議を行いました。そして2番目といたしまして、健康保険証のマイナンバーカードへの一本化に関わる現状について、健康保険証の存続を求める意見書採択に関する陳情に関して、所管課である国保年金課から説明を受けました。説明の後、議員間で協議を行いまして、この陳情に対する文教厚生委員会としての方針を決定いたしました。

その内容を報告させていただきます。

令和5年8月1日付で郵送にて受理をいたしました健康保険証の存続を求める意見書採択に関する陳情に関しまして、市議会申し合わせ事項においては郵送による陳情は原則として取扱いをしないとありますが、令和5年8月7日の議会運営委員会において所管の文教厚生委員会で対応を検討することとなっておりましたので、その後の検討結果について報告をさせていただきます。

令和5年9月15日に文教厚生委員会を開催いたしまして、所管課であります国保年金課から、健康保険証のマイナンバーカードへの一本化に関わる現状について聞き取りを行いました。廃止

となる保険証の種類や今後の対応、現在のマイナンバーカード保険証の登録状況について説明があり、委員からの質疑を行った結果、文教厚生委員会といたしましては、報道等において全国的にトラブル事例は報告されているが、国においては現在総点検を実施しているとともに、国民の不安払拭を最優先として対応を取っていくことを岸田総理も明言していること、そもそもマイナンバーカードへの健康保険証の一本化は国策であり、国において様々な対応を検討している中で、このような陳情を受け付け、意見書として提出することは、時期なお尚早であると考え、このような考え方から、今回は所管課から現状についての状況を確認したということで、この件についての対応を終了といたしました。

この陳情に関する文教厚生委員会としての対応についての報告は終わりでございます。

9月25日ですけれども、付託議案審査で付託されました9件の議案について審査を行いました。審査結果につきましては、29日の本会議において報告をさせていただきます。

提言書につきましては9月22日の議会運営委員会にて指摘を受けた事項について、委員会として協議を行いました。修正版について委員全員の了承が得られたことから、委員会としての最終案が決定いたしました。提言書の内容については、この後の協議事項において説明をさせていただきます。

所管事務調査報告書につきましては、2年の任期が終了することから、議長に対して提出する所管事務調査報告書について協議を行いました。

以上であります。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長（植田博巳君）

(5) 議会広報特別委員会、お願いします。

○10番（原口康之君）

議会広報特別委員会です。

9月1日に臨時委員会を開催いたしました。牧之原市議会だよりかけはし第71号表紙写真の確認ミスの件について、経過の報告と今後の対応などについて協議をいたしました。

協議した結果については9月7日のLINE WORKSで全員に送らせていただいたとおりになりますので、よろしく願いいたします。また、該当する方への対応として、9月10日に現在の状況、新しく作成したかけはしの第71号と今後の対応について協議結果を報告し、1か月後をめどに最終報告をする旨を確認しております。

9月11日、第1回目の委員会を開催し、牧之原市議会だよりかけはし第72号のページ割スケジュールなどについて、協議、確認をいたしました。締切については関係の方々にはLINE WORKS等でお知らせしたとおりになりますが、総括的な質疑、通告質疑については9月29日、

金曜日、ほか全ての原稿については10月2日、月曜日までとなっていますので、皆さんよろしく
お願いいたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

○議長（植田博巳君）

(6) 議会改革特別委員会、お願いします。

副議長。

○15番（村田博英君）

8月11日の全体会議をもってAチーム、議会改革の改善、議会報告会の改善、それからBチー
ム、開かれた議会につきまして終了ということになりましたので、今、議長宛ての報告書を作成
し、それを持って終わりいたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

4 協議事項 (1) 提言書について

○議長（植田博巳君）

次に、4番、協議事項に移りたいと思います。

(1) 提言書について、アの総務建設委員会、持続可能なまちづくりについてを総務建設委員
会の委員長、お願いしたいと思います。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

それでは、総務建設委員会の今回提出します提言書案について、報告をいたします。

事前にタブレットのほうへ入れさせていただいて、皆さん自宅のほうで見てきてもらっている
と思うんですけども、総務建設委員会の後期の提言については、昨年、令和4年9月ですけれ
ども、持続可能なまちづくりの所管事務調査に基づいて、これからも牧之原市に住み続けたいと
思える持続可能なまちづくりを実現するために、多角的な視点から8項目の提言を行いました。

その後も、持続可能なまちづくりをテーマに所管事務調査を進めてきましたけれども、後半に
ついては、昨年提出しました8項目の提言の中から、特に各委員が問題意識を持っている三つの
課題について絞り込み、それについて行政視察、また相良高校生との意見交換会等を実施して、
具体的な提言内容を絞ってまいりました。

それが今回、提言内容としてあります沿岸部の活性化、空き店舗の活用と商店街の活性化につ

いて、それと有機農業の推進についてということですが、今回特に、相良高校生との意見交換会の中で相良高校生が希望する項目をこの提言の中に盛り込んだということで、ぜひとも当局のほうに実施して、高校生の期待が膨らむ、そして自分たちがこのまちに住める希望が持てるような、そんな成果が出ればいいなど、そんなふうに思っております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

次に、イの文教厚生委員会の人口増加に繋がる魅力ある子育て施策について、委員長のほうから報告をお願いします。

中野議員。

○13番（中野康子君）

文教厚生委員会におきまして作成した提言書について、ご説明させていただきます。

文教厚生委員会では、令和3年11月から令和5年9月までの約2年間、高齢化社会対策について及び人口増加に繋がる魅力ある子育て政策について調査研究事項として協議を進めてまいりました。

一つ目の高齢化社会対策につきましては、コロナ禍ということで残念ながら先進地視察は実施できませんでしたけれども、勉強会や市民会議を通して様々な課題が見えてきた中、フレイル予防及び高齢者の社会参加を重要な観点として、令和4年12月20日に市長に対して提言書を提出いたしております。

今回は、二つ目の人口増加に繋がる魅力ある子育て政策につきましの提言書となります。

当該テーマの調査研究に当たりましては、子育て政策を所管している担当課による勉強会や関係団体との市民会議のほか、県内県外の先進地視察を実施しました。そのような中で、全天候型かつ多世代で遊べる子育て支援施設の必要性を強く感じたこと。また、静波サーフスタジアムという国内唯一の施設が立地していることも鑑み、市の魅力の一つであるサーフィンを活用した施策の必要性を感じたことから、この二つを重要な観点として、提言書を策定いたしました。

皆様、事前にお読みいただいているかと思っておりますので、概要のみご説明させていただきますが、サーフィンを活用した政策についてといたしましては、サーフィンは家族がきっかけで始めることが多いことから、静波サーフスタジアムを親子や市内の学校で体験できる機会を設けること、既に市内の幾つかの小中学校で実施している学校プールを活用したサーフィン体験を市内全ての小中学校に広げること、他県に住む子育て世代にサーフィンも含めた当市の魅力を知ってもらい移住を考えていただく一つの方法として、保育園に関する留学制度について検討することなどを挙げています。

多年代で利用できる全天候型子育て支援施設といたしましては、施設整備に当たっては近隣市町にも同様の施設があることから、当市の特色を生かしたコンセプトを検討すること。コンセプトの設定に当たりましては、単に遊具を設置した遊び場とするのではなくて、子供にとっての学

びの場となるような工夫をすること。施設の管理運営については民間のノウハウ等の活用についても検討すること。

学校再編による学校跡地の活用について、現状と将来の展望や地域の意見を考慮して、今後具体的な検討に入っていくものと考えられることから、建設費抑制の観点からも、既存の校舎や体育館等の施設を含んだ学校跡地の活用についても検討することなどを挙げております。

今後の予定といたしましては、9月29日の本会議終了後に市長に対して提出したいと考えておりますので、皆様どうぞよろしく願いをいたします。

以上であります。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

ただいま総務建設委員会、文教厚生委員会から提言書についての説明がございました。両委員会の委員長をはじめ、委員の皆様が一年間大変ご努力をいただいて提言書をまとめていただきましたので、これについては全会一致で市長に提出したいと思っておりますけど、皆さんよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

それでは、この二つの、総務建設委員会、文教厚生委員会の提言書につきましては、9月29日、定例会終了後に市長に提出するという事で決定いたしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございます。

-
- 5 その他
- (1) 議員勉強会について
 - (2) 多目的体育館工事現場説明会について
 - (3) 志太榛原五市二町議会議長連絡協議会議員研修会・議員交流会の開催について

○議長（植田博巳君）

5のその他に移ります。

(1)の議員勉強会について、事務局のほうから説明願います。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

その他の(1)議員勉強会についてですけれども、日時が10月10日、火曜日、14時から15時半ということで、場所はこちらの大会議室で行います。

内容につきましては、「放射線とがん」ということで、講師に東京大学大学院医学系研究科特任教授の医学博士、中川恵一氏を迎えて勉強会を行いたいと思っております。

対象者は議員の皆様全員、それと当局側の部課長職を対象としています。

当日はタブレット端末をご持参いただきたいと思います。

この内容につきましては、近々報道提供させていただきます。

続きまして、(2)の多目的体育館工事現場説明会についてということで、こちら資料6のほうをお開きください。

こちらにつきましては、日時のほうが10月12日、木曜日。この日は文教厚生委員会協議会が9時からありますので、それが終了次第、い〜らの南側駐車場に個人の車であるとか乗り合せて行っていただきまして、隣で建設しています体育館の現場事務所の前にお集まりいただいてから、説明を受けることとなります。

この資料の2枚目を開いていただきますと、地図がついていまして、い〜らの駐車場へとめていただいて歩いていきますとフェンスありますが、小さな門扉から出入りできますということで、この矢印に従って移動していただくような形になります。

それで、この日ですけれども、文教厚生委員会がありますので、スポーツ推進課のほうとも話をしたんですけれども、現場ということで作業服のほうがいいのかということで聞いたんですけど、特に狭い場所へ入るとか、そういった危険な場所へ行くということはしないで説明をしますということだったので、文教の協議会、今着ている格好で協議会終了後、そのままの格好で現場へ向かっていただければ結構ですので、作業服での参加は求めています。

ただ、足場がちょっと土のところもありますので、汚れてもいい靴でありますとか、あとヘルメットは持参していただきたいと、そういう形になりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

続きまして、志太榛原五市二町議会議長連絡協議会議員研修会及び議員交流会の開催についてということで、日時が10月24日の火曜日。研修会が15時から、交流会が17時30分から。

会場につきましては、研修会については大井川文化会館ミュージコ、交流会は焼津グランドホテルとなります。

研修会の演題につきましては、「議員のためのコンプライアンス」。講師に第一法規出版株式会社販売推進局、東海・北陸エリアマネージャー船田忠行氏を迎えて研修を行います。

対象者につきましては、全議員。五市二町となりますので、焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、御前崎市、吉田町、川根本町の全議員が集まるような形となります。

交流会の負担金につきましては、今連絡をもらっている限りでは1人8,000円、またこちらも当日集金するような形になると思ひますけど、まだ詳細が来ていませんで、また近くなりまして詳細が来たところで、皆さんにお知らせをします。

移動につきましては、事前にバスの乗り場所を皆さんに記入していただきましたけれども、市のマイクロバスで相良庁舎を14時出発、榛原庁舎を14時15分出発と、そういった形になります。

この日、午前中に議会報告会の反省会を10時からこちらの大会議室で行いますので、それが終わりましたら皆さん一旦帰宅してもらいまして、食事と支度をして、バスの集合出発時間に間に合うような形でお集まりいただくと、そういった形になりますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

今、議員勉強会、そして多目的体育館の工事現場説明会、志太榛原五市二町の協議会・研修会、この件について、何かご質問はありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

ないようですので、ぜひよろしくお願いたしたいと思います。

そこでもう一点ですけれども、私のほうから提案させていただきたい件があります。

先ほど市長報告にもございましたけれども、ハワイの火災に対する義援金を今、市のほうでいろいろな市民の皆様募金活動を行っているということでございます。そういった中で、牧之原市議会としても義援金を渡したらどうかと私は思っておりますけれども、この件について、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

中野議員。

○13番（中野康子君）

まさに私も提案させていただこうと思っておりました。現在高が10万円ということでございますので、市議会といたしまして、今後の私たち提言の中にもサーフィンを通じてというのを入れてありますので、ぜひこれは議員の皆様にご協力いただきまして、お願いたしたいと思います。

○議長（植田博巳君）

今、中野議員からご発言がございましたけれども、義援金をお渡しするというので、皆さんよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

お渡しする金額なんですけれども、ご提案はございますでしょうか。5,000円か1万円ということなんですけど。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

互助会のほうへ皆さんで毎月納めているものですから、その中から一定の金額を決めて出したらどうですかね。

○議長（植田博巳君）

太田議員からそのような提案がございましたけれども、それでよろしいですか。一定の金額という。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

互助会費の残として、今26万円はあるそうです。ただ、残しておいてもらわないとというのがありますので、金額のほうは皆さんで決めていただければ。

○議長（植田博巳君）

今、報告がありましたけれども、多少は残金を残しておかないと困るということですから。

○事務局次長（本杉裕之君）

逆に皆さん幾ら出したいか、そっちのほうで。それを決めていただければ。

○議長（植田博巳君）

種茂議員。

○8番（種茂和男君）

先ほど木村議員が言われたように、1,000ドルというと14万9,000円なんです。ドルでやったほうがいいのか、一人1万円で15万円にしたほうがいいのか。ちょうど1,000ドルだと14万9,000円ぐらいですか。ドルでなのか円なのか。

○議長（植田博巳君）

14万9,000円と15万円ですので、日本円に換算してきりのいいところということで、15万円かどうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

では、15万円を義援金として、牧之原市議会からホノルル市長ということですか、それともハワイ州の州知事ですか。

○事務局次長（本杉裕之君）

先ほどの話で、ホノルル市長のところに子供たちが向こうへ行って持っていくときに預けるような形でいいんじゃないかなと思うんですが。

○議長（植田博巳君）

そのような形でお渡しするというので、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

ありがとうございます。

その他は以上ですけれども、ほかにございますか。事務局。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

皆さん分かっているとは思いますが、確認の意味で言わせていただくんですけども、議会運営委員会が開かれまして、その後の全員協議会、今日みたいな全協で、議運で決まったこと、内容等を説明するわけなんですけれども、議会運営委員会が開催された日には、議運で協議された資料であるとか、フォルダの議会運営委員会の中にアップされますので、議運に参加されていない議員の方も、その日の5時以降になれば議運の資料を見ることができますので、確認をしていただければと思います。

全協で説明はするんですけど、それより前に知りたいという方もいらっしゃるようですので、議運が開かれた5時以降には皆さんも見れるような形になりますので、ご承知おきください。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

○13番（中野康子君）

議運はあくまでも方向性を示すものなんだから、全員がそれをこの場で知らなければいけないというわけではないと思います。全員協議会でちゃんと報告しているんですから。

○事務局次長（本杉裕之君）

ある方から先に見たいという意見もありましたので、5時を過ぎれば見れるような形にはなっていますのでということで。

○議長（植田博巳君）

木村議員。

○6番（木村正利君）

昨年9月に議長名で学校法人榛原学園「川崎幼稚園」園児死亡事故に関して再発防止を求める要請書を出していると思うんですけども、いろいろな中でこの経緯って、この前もお話したときに、今の経緯というのが私のところにははっきり見えていないと思うんですね。ここら辺についての要請書のところの確認というのは、どういうふうに考えている。私自身も正直いってあまり、河本千奈ちゃんのお父さんが廃園に向けてのいろいろなところをやったりしているんですが、議会として、このところの一年たったところの検証というのはどういうふうに考えているか、確認したいと思ひまして。

○議長（植田博巳君）

その経緯については、担当課のほうから全員協議会等で随時説明がされていると思います。最終的な一年たった検証というお話ですけども、そういった説明をもって了解しているということだと思うんですけど。

議会としてもう一度、一年たったときの状況確認を、報告を願いたいということのご意見でしょうかね。

木村議員。

○6番（木村正利君）

この項目に従って、極力保護者の意向に関し対応するように要望されているということに対しての、それぞれ議会として出した要望書、1項目、2項目、3項目についての共有は必要ではないかなと私は感じているんですが、皆さんいかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

この件について、皆さんご意見をお伺いしたいと思います。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

できれば来月の全員協議会でもそういったことで、今、木村議員が言われたようなことを総括的に、ほかも含めて報告をしてもらうとかという提案をすればどうかなと思うし、それともう一つ、今後の大きな問題として、今年については細江保育園の指定管理料は議会として一年分は認めました。

ただ、これ、恐らく今の状況を聞いていると、榛原学園もそれを3月末で手放すという意向は全く出ていないと思うんです。そうなると、恐らくまた、同じように来年度の予算というものが計上されてくる可能性が非常に高いんですよね。だから、そういったことを議会として今後判断していかないといけないものですから、そういった意味でも、問題意識を持って、それで議会としてもしっかり強い主張は主張で、途中必要だと思うんです。

その辺も含めて、今、木村議員が言われたようなことを総括的に報告を要請を出していただきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

今、太田議員からご説明がございましたけれども、次の全員協議会の中で、そこら辺の一年間の経過等について報告していただくということで、よろしいですか。そうやって私のほうから申し入れたいと思いますけど、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

それでは、そういう形でさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

以上で議員全員協議会を終了いたします。お疲れさまでした。

〔午前 9時57分 閉会〕